

LINN

日本語



KINOS SYSTEM CONTROLLER
オーナーズ・マニュアル

安全上のご注意

本マニュアルおよび製品に付されたマークについて



危険な電圧が存在することを警告するものです。
感電を引き起こす可能性があるため注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、
操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

注意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。

感電の危険あり。開けないでください。
本機器はアースする必要があります。

電源ケーブル

付属の電源ケーブルは本機専用のものです。他の機器には絶対使用しないで下さい。

安全注意事項

1. **説明を読む**：本製品を使用する前に、安全注意事項と操作の説明を熟読してください。
2. **説明書を保管する**：いつでも参照できるよう、安全注意事項や操作説明が掲載されている文書を保管してください。
3. **警告に従う**：製品と操作説明に記載されたすべての警告事項に注意し、従ってください。
4. **指示に従う**：必ず使用や操作に関する指示を守ってください。
5. **水と湿気**：本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. **カートとスタンド**：製造者が推奨するカートとスタンドのみを使用してください。
- 6a. **機器とカートの組合せ**については十分な配慮が必要です。急停止、過度な力、平らでない床などにより、機器を搭載したカートが倒れる場合があります。
7. **壁や天井への取付**：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
8. **換気通風**：適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をベッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
9. **熱器具**：本機は、ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他アンプも含めて、熱を発するものから離して設置してください。
10. **電源**：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
11. **アースと分極化**：安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
12. **電源コードの安全**：電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
13. **保護機能付きプラグ**：オーバーロード保護機能を組み込んだ付属プラグが用意されています。プラグのリセットと交換については説明書を参照してください。プラグ交換が必要になったら、もとのプラグと同じオーバーロード保護機能を有するものを使用してください。
14. **クリーニング**：必ず製造者の指示に従ってクリーニングを行ってください。
15. **電線**：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
16. **屋外アンテナの接地**：チューナー/レシーバーに屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関してはNational Electrical Code ANSI/NFPA 70の810項を参照してください。
17. **雷が鳴り出した場合**：雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。本機器内部に異物や液体を入れしないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。
18. **異物や液体の混入**：本機器内部に異物や液体を入れしないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。
19. **サービスが必要になる場合**：次のような場合は、専門技術者による修理調整が必要です。
 - a) 電源コードやプラグが破損したとき
 - b) 製品内部に異物や液体が入ったとき
 - c) 製品が雨に濡れたとき
 - d) 製品が正常に作動しないとき、また作動に明らかな異状が見られるとき
 - e) 製品を高いところから落としたとき、キャビネットに破損が生じたとき
20. **サービス**：操作説明書に記載されたことを超えて機器をご自分で修理しようとなさらないでください。専門技術者にお任せください。

警告

本機器はアースする必要があります。

CE遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令73/23/EECおよび電磁互換性に関する指令89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EECにより修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	2002	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

FCC通告

注記:

本機器は試験審査の結果、FCC規則第15部により、クラスBデジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレーザーの距離を離す。
- レーザーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2004 Linn Products Limited. 2004年6月初版

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow, G76 0EQ, Scotland, United Kingdom

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形での保存、転送をすることはできません。

Printed in the United Kingdom.

Linn (リン) および Linn のロゴは、Linn Products Limited の登録商標です。
KINOS、KISTO、UNIDISK、KNEKT、KLIMAX および LIMBIK は Linn Products Limited の商標です。

「DTS」「DTS-ES」「DTS 96/24」は、Digital Theater Systems, Inc. の商標です。

Dolby Laboratories とのライセンス契約により生産。「Dolby」「Pro Logic」「double-D」のマークは、いずれも Dolby Laboratories の商標です。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

目次			
はじめに	1	設置	9
音声フォーマット	1	開梱	9
クリーニング	1	電源の接続	9
前面パネルとリモコン	2	設置	9
前面パネルのディスプレイ	2	接続	10
前面パネルのレイアウト	2	コントロール、SCART	11
リモコン	3	音声入力／出力	12
前面パネルの端子	3	映像入力／出力	13
操作	4	前面パネルの端子	13
ヘルプ機能	4	KINOSの設定	14
スタンバイ	4	1: 接続	14
ソースの選択	4	2: セットアップモード	14
ソースの分離設定	4	3: インストーラー設定	15
サウンドの調節	5	4: ユーザープロファイル	16
音量	5	既存プロファイルのコピー	16
バランス	5	リンUNIDISKプレイヤーと	
音量トリム	5	KINOSを接続して使用する	17
Lip Sync デイレイ	5		
サラウンドサウンドのフォーマット	6	デフォルト入力設定	18
ドルビーヘッドフォン	6	ソースオーバービュー	19
深夜映画モード	6	技術データ	20
もとの音声設定に戻す	6	保証とサービス	21
レコーディング機能	7		
設定の変更	8		

はじめに

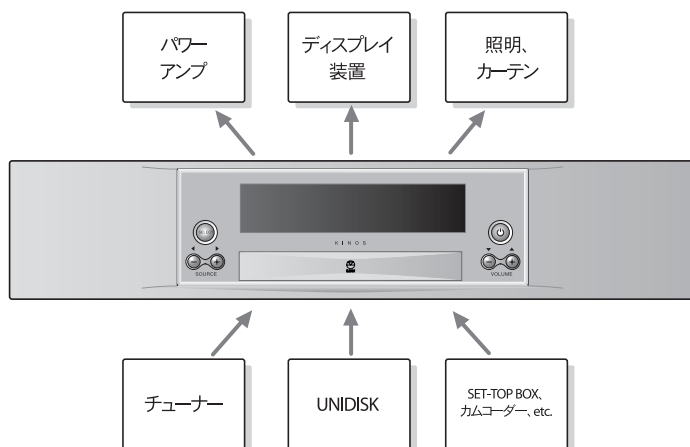
KINOSシステムコントローラーは先進的な高性能マルチチャンネルAVシステムコントローラー。どんなAVシステムにも幅広く対応しながらサウンドシステムをコントロールし、かつユーザーフレンドリーな製品です。

多くのAVプロセッサー製品とは異なり、KINOSは純粋なシステムコントローラーです。単純明快なインターフェイスを通してホームエンタテインメントシステムの各要素を自在にコントロールすることができます。この先進的な製品は幅広い種類の音声や映像規格に対応し、並外れて高音質な7.1チャンネル音声を生み出します。

モジュール化した2シャーシ設計のKINOSには、9個の回路基板が実装され、現在ご使用になっているAVシステムに対応する60以上の端子を備え、高品質な入力機器の性能を損なうことなく幅広いコントロールを実現します。

KINOSでは、最初にKISTOシステムコントローラーに採用された、強力で新しいリン社設計のユーザーインターフェイスを利用し、シンプルな設定、コントロール、ユーザープロフィール/システムプロフィール保存機能を備えています。オンスクリーンできるヘルプ機能によって、設定と操作が(容易に)わかりやすく表示され、お使いになる方は、本当に大切なこと、つまり音楽と映像に集中していただけるはずです。

ご使用のシステムを中心にKINOSシステムコントローラーを設置すれば、音声および映像製品、お部屋の環境とリンによるコントロールとパフォーマンスがシームレスに統合されます。AVシステムへのアクセスはよりシンプルにでき、鑑賞する楽しみはより大きく広がることでしょう。



重要事項:

機器がスタンバイモードのときは、KINOSかKINOS+DSPのどちら一方が前面パネルに表示されます。KINOS+DSPが表示されている場合、本機にリン社のRekord モジュールが搭載されていることを示します(「操作」の「レコーディング機能」をご参照ください)。

音声フォーマット

KINOSが対応しているサラウンドサウンドのアルゴリズムには、以下のものが含まれます:



Dolby Pro Logic II, Dolby Digital EX



Dolby Headphone



DTS 96/24, DTS-ES

リン独自のLIMBIKアルゴリズムに、これらが追加されています。

(KINOSをご使用のディスプレイ装置用に設定したら、リモコンの「SURR」(サラウンド)を押し、次に「HELP」を押すことによって、アルゴリズムの全リストをご覧になれます - 操作の項のヘルプをご覧ください)。

クリーニング

クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。ホコリや指紋は柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。

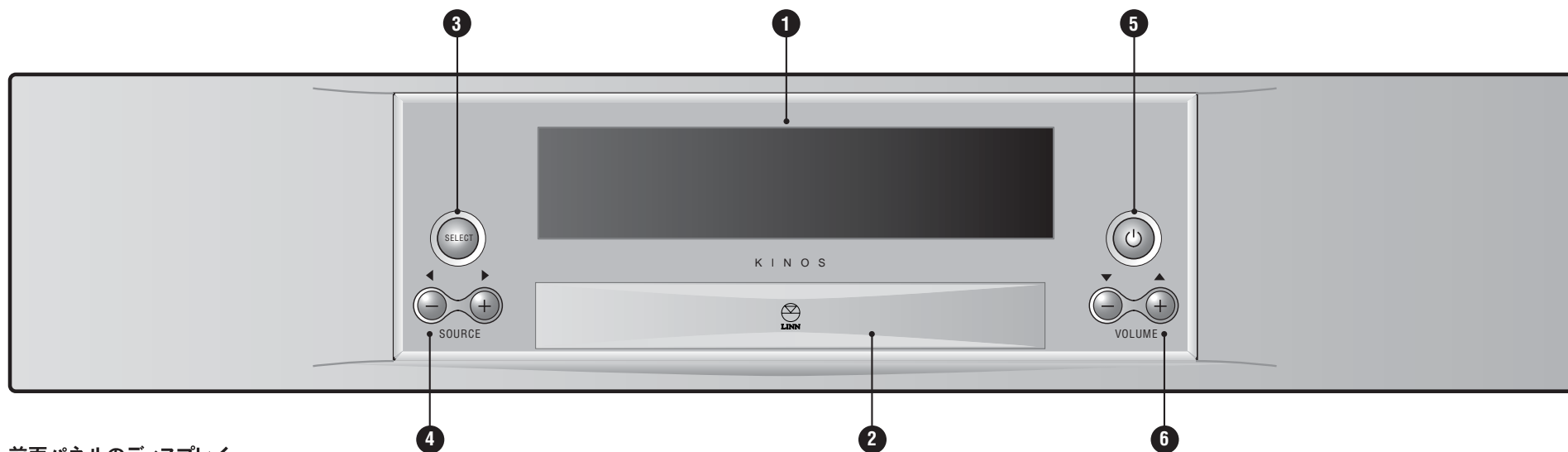
前面パネルとリモコン

前面パネルのディスプレイ

前面パネルのディスプレイには、その時点における映像と音声に関する情報が表示されます。再生中の音量、入力あるいは両者が入力音声信号とその処理が表示されます。

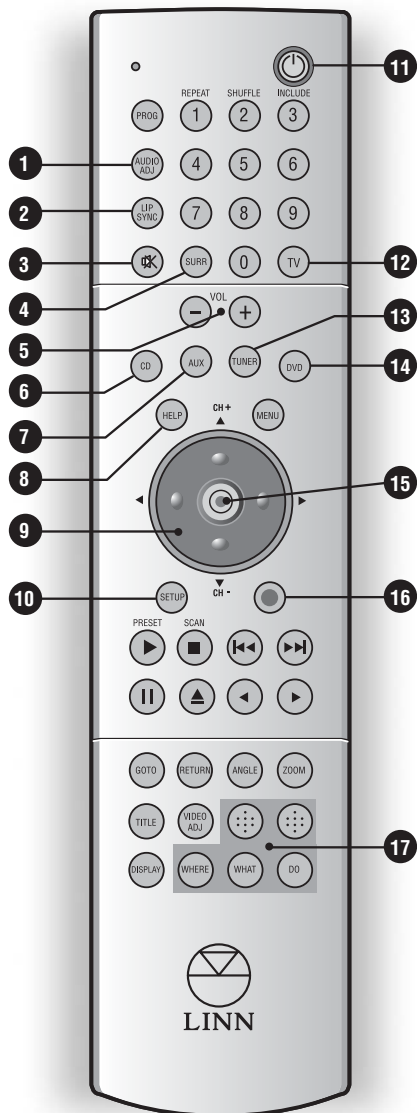
またセットアップメニューと、その時点の作動内容により他の情報も表示されます。

前面パネルのレイアウト



- 1 前面パネルのディスプレイ
- 2 Door 前面パネルの端子をカバーします
- 3 SELECT オプションおよび特定のコマンドを選択／実行します。「Setup Menu」(セットアップメニュー)を呼び出すために使用します。
- 4 SOURCE - / +, ◀ / ▶ ソースを変更し、設定を調整します。
- 5 ⏻ (standby) スタンバイモードのオン／オフを切り替えます。
- 6 VOLUME - / +, ▲ / ▼ 音量を調整したり、セットアップメニューで設定を調整します。

リモコン



- 1 **AUDIO ADJ** ラウドスピーカーのバランスとトリムを調整します。
- 2 **LIP SYNC** 音声／映像の同期化を調整します。
- 3 **mute** 音声をミュート(消音)／ミュート解除します。
- 4 **SURR** サラウンドサウンドのフォーマットを選択します。
- 5 **VOL - / +** 音量を調節します。
- 6 **CD** CDソースを選択します。
- 7 **AUX** 他機器からのソースを選択します。
- 8 **HELP** オンスクリーンヘルプにアクセスします。
- 9 **▲ ▼ ◀ ▶** セットアップメニューの項目を選び、設定を調整します。
- 10 **SETUP** セットアップメニューを表示／非表示します。
- 11 **power (standby)** スタンバイモードのオン／オフを切り替えます。
- 12 **TV** リモコンをTVモードにします。
- 13 **TUNER** ラジオ放送をソースとして選択します。
- 14 **DVD** DVDソースを選択します。
- 15 **'enter'** オプションおよび特定のコマンドを選択／実行します。「Setup Menu」(セットアップメニュー)を呼び出すために使用されます。
- 16 **record** (record) レコードパスを設定します。
- 17 **KNEKT keys** 本機をKNEKTシステム内で使用するときに使います。

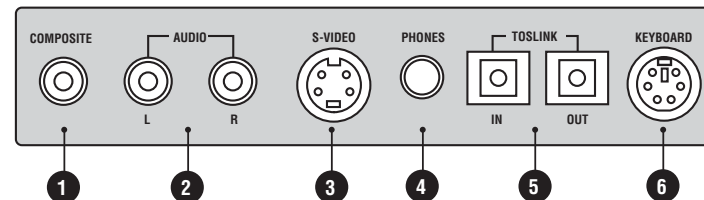
上記以外のキーおよび機能は、KINOSシステムコントローラーでは使用しません。

注記:

KINOSがリモコンキーでうまく操作できない場合、リモコンがTVモードになっている可能性があります。リモコンのソースキーのいずれか(DVD/ CD/ TUNER/ AUX)を押してください。

前面パネルの端子

KINOSの前面パネルの端子には、ビデオカメラやゲームコンソールなどのAV装置を接続することができます。これらの端子は前面パネルドアの裏側にあります。



- 1 **COMPOSITE** コンポジット映像入力
- 2 **AUDIO L and R** アナログステレオ入力
- 3 **S-VIDEO** S映像入力
- 4 **PHONES** ヘッドフォン用ソケット
- 5 **TOSLINK IN/OUT** デジタルオプティカル音声入力&出力
- 6 **KEYBOARD PS2** キーボード接続

ソースコンポーネントを前面パネルに接続したら、新しいソースを使用する前に、KINOSを適切に構成する必要があります。いったんソースをセットアップしたら、次からセットアップは不要になります。

セットアップについての詳細な情報は、「KINOSの設定」を参照してください。

操作

ヘルプ機能


KINOSの操作説明をさらに便利にご利用いただけるよう、製品自体に解説を組み込みました。リモコンの「HELP」を押すと情報にアクセスできます。ヘルプ情報は、ご使用のディスプレイ装置（前面パネルのディスプレイではありません）に表示され、KINOSが動作状態であればいつでもアクセスできます。（表示される言語は、英、仏、独、伊、西、蘭の六カ国語です）

表示される情報は、直前に使われたキーに関連したものです。たとえば「LIP SYNC」キーを押した後4秒以内に「HELP」を押せば、Lip Sync遅延についての情報が出ます。直前にキーを押してから4秒以上過ぎると、ヘルプ機能の索引ページが表示されます。リモコンまたは前面パネルの▼キーを使って必要な項目まで移動したら、リモコンの「enter」または前面パネルの「SELECT」を押します。索引ページに戻るには4キーを押します。ヘルプ機能から離れるには、再度「HELP」を押します。

注記：
「HELP」を押した後、KINOSが正しい情報を読み込むまで数秒間お待ちください。

スタンバイ

スタンバイモードと動作モードを切り替えます

- フロントパネル、あるいはリモコンの  <standby> ボタンを押します。

ソースの選択

利用したいソースを選択する：

- リモコンの該当するソースタイプキー（DVD/CD/TUNER/AUX）を押します。*
- ▲ / ▼ キーで使用可能なソースの中から使用するソースを選択します。
- 利用するソースがディスプレイ装置または前面パネルに表示されたら、「enter」を押し、KINOSが入力を自動的に選択するのを待ちます。

または

- 前面パネルの、「SOURCE +/-」キーを使います。すべての使用可能なソースの中から選択できるようになります。*
- 利用するソースがディスプレイ装置または前面パネルに表示されたら、「SELECT」を押し、KINOSが入力を自動的に選択するのを待ちます。

*前面パネルの端子を使用するソースについては、「SOURCE -」キーと「SOURCE +」キーを同時に押します。さらに「SOURCE -」キーと「SOURCE +」キーを同時に押すことによって、前面パネルソースを使用する全ソースの中から選択できるようになります。前面パネルソースは、リモコンで設定することはできません。

ソースの分離設定

ひとつのソースを分けて、現在のものとは別のオーディオ/ビデオ装置を設定することができます。たとえば、あるソースを見ながら別のソースを聴きたい場合などに役立ちます。

ソースを分岐する：

- 分岐しようとするソースを画面パネルのディスプレイに表示させて、リモコンの該当するソースキーを押します（例：DVDプレイヤーソースについては、「DVD」を押します）。

▲ / ▼ 矢印がソース名の左に出ます。（そのソースを選択していれば、すでに矢印が表示されており、ディスプレイ装置にソース名が表示されています。）

- リモコンの▶を押します。

そのソースの音声装置と映像装置が並べて表示されます。

- 音声装置と映像装置のあいだを▶で移動します。
- ▲ / ▼ キーを使って音声ソースまたは映像ソースを変更します。
- 新しいソースコンポーネントを選択するには「enter」を押します。

分離させたソースをもとに戻す：

- リモコンの該当するソースタイプキーを押します。
- ▲ キーを押し、続いて▼キーを押します。

注記：

頻繁にお使いになる一定のコンビネーションがある場合は、その組み合わせをひとつの固定ソース構成としてセットアップメニューで設定するほうが便利かもしれません（「KINOSの設定」を参照）。

サウンドの調節

音量

音量を調節する:

- リモコンまたは前面パネルの「VOL +/-」を繰り返し押し続け続けます。

音量は 0～100の範囲(0.5刻み)で選択できます。

バランス

全ラウドスピーカーのバランスを調整する(センター及びサブウーファーを除く):

- リモコンの「VIDEO ADJ」(調整)を押します。

ディスプレイ装置／前面パネルディスプレイに「Balance」と表示されます。

- バランスを右へ動かすには ▶ を繰り返し押し(あるいは押し続け)、左へ動かすには ◀ を使います。

バランス範囲は、左へ5段階、右へ5段階です。0がニュートラルとなります。

音量トリム(フロントL/R 以外のスピーカー接続時に有効)

DVDを見たりマルチチャンネルディスクを聞いたりする際に、他のラウドスピーカーに影響を与えずに、センター、サラウンド、バックサラウンドのラウドスピーカー音量を調整したい場合があるかもしれません。これは音量トリムを調整して行います。

音量トリムの調節:

- リモコンの「AUDIO ADJ」(調整)を繰り返し押し、ディスプレイ装置／前面パネルに調節したいラウドスピーカーを表示させます。
- リモコンか前面パネルの ▲ / ▼ を繰り返し押し(または押し続けて)、音量トリムのレベルを増減します。

音量トリム範囲は-10.0～10.0(0.5刻み)です。ニュートラルは0です。

注記:

「AUDIO ADJ」を繰り返し押ししたときに表示されるラウドスピーカーは、使用しているラウドスピーカー数とその時点で選択されているサラウンドサウンドフォーマットによって異なります。

Lip Sync デイレイ

DVDによって、俳優の口の動きと音声があわない場合があります。KINOSのLip Sync遅延機能でこれを修正することができます。

Lip Sync遅延の調整:

- リモコンの「LIP SYNC」を押します。
- 前面パネルかリモコンの ▲ / ▼ を押して、映像と音声があうまで音声信号を遅らせます。

Lip Sync遅延の範囲は、0～250ミリ秒です。

注記:

Lip Sync遅延のセッティングはその入力にのみ保持されます。

アナログ入力に関してLip Sync Delay を施す際は、音声信号をA/D変換し再度アナログに変換する必要があるため、最小デイレイ範囲は5ミリ秒からとなります。

サラウンドサウンドのフォーマット

KINOS は幅広いサラウンドサウンドフォーマットに対応し、オーディオ／ホームシネマをさらに高次のものにします。サラウンドサウンドフォーマットについての解説は、リモコンの「SURR」を押し、さらに「HELP」を押してご覧ください。

サラウンドサウンドのフォーマットを変更する:

- リモコンの「SURR」を繰り返し押し、前面パネル／ディスプレイ装置に求めるフォーマットを表示させます。

注記:

使用できるサラウンドサウンドフォーマットは、処理される信号タイプによって決まります。

現時点の音声信号に対するサラウンドサウンドフォーマットのデフォルト設定は、前面パネル／ディスプレイ装置に括弧で表示されます。

ドルビーヘッドフォン

KINOSはドルビーヘッドフォンを備えています。この信号処理アルゴリズムは、従来のヘッドフォンでは音が「頭の中で鳴る」のに対し、音を自然な空間の広がりの中で聞かせます。ドルビーヘッドフォンはいかなるサラウンドサウンドオーディオストリームにも対応し、3種のバーチャル空間でのアコースティックを再現します。

ドルビーヘッドフォンを使う:

- ヘッドフォンを前面パネルの PHONES ソケットに差し込みます。

KINOSが自動的にヘッドフォンを検出し、スピーカーの音を消します。

ドルビーヘッドフォンのオプションを変更する:

- ヘッドフォンを差し込んだままで、リモコンの「SURR」を繰り返し押し、前面パネル／ディスプレイ装置に必要なオプションを出します。

ドルビーヘッドフォンに関するより詳しい説明を表示させるには、「HELP」を押し、画面表示でDolby Headphone の項目を選択の上「enter」キーを押します。

深夜映画モード

この機能は、入力に関わらず(マルチチャンネルのデジタル入力や2チャンネルアナログ入力等の別なく)音声圧縮を施します。DVDビデオの爆発シーンなどで瞬間的に増す音量を抑えます。

深夜映画モードのオン／オフ:

- リモコンの「SURR」を押し続けます。

オンになっていると、前面パネルディスプレイに「M/Movie」と表示が出ます。

Audio Setup メニューの Midnight Movie モードにおいて圧縮の程度を可変調整することができます。(「セッティング」の項目をご参照ください)

もとの音声設定に戻す

上記のすべてのオーディオ設定をニュートラル／デフォルトに設定し直す:

- リモコンの「AUDIO ADJ」を押し続けて、前面パネル／ディスプレイ装置に「Normalizing」を表示させます。

レコーディング機能

レコーディング機能により、ソース信号をVCRやDATレコーダーなどの録音装置に送信することができます。

KINOSで使用できるレコーディング機能は、お使いの機器にLin Rekord モジュールが搭載されているかどうかによって決まります(お使いの機器に Rekord モジュールが搭載されている場合、本機がスタンバイ状態になったとき、前面パネルディスプレイにKINOS+DSPが表示されます)。^{*}

これら2種類の機器におけるレコーディング機能の違いは、以下の表の通りです。

KINOS (LinRekord
モジュール無し)

	アナログ出力	デジタル出力
アナログソース	あらゆるアナログソースをアナログ出力することができます。	アナログソースをデジタル出力することはできません。
デジタルソース	現時点で再生しているデジタルソースのみアナログ出力できます。	現時点で再生しているデジタルソースのみデジタル出力できます。


KINOS+DSP (LinRekord
モジュール搭載)

	アナログ出力	デジタル出力
アナログソース	あらゆるアナログソースをアナログ出力することができます。	あらゆるアナログソースをいつでもデジタル出力することができます
デジタルソース	あらゆるデジタルソースをいつでもアナログ出力することができます。	あらゆるデジタルソースをいつでもデジタル出力することができます

注記:
映像ソースのオーディオコンポーネントは上記の表の通りです。

^{*}LinRekordモジュールは、標準KINOSのアップグレードとして利用できます。

レコードバスをセットする:

- リモコンの  (record) (録音) キーを押します。
- ▲ / ▼ キーでレコーディングしたいソースを選び、「enter」を押します。
- レコーディングにしたいオプションを▲ / ▼キーで選択し、「enter」を押します。

レコーディングのオプションは次の通りです。

オプション	説明
LtRt 44.1 kHz LtRt 48 kHz LtRt 88.2 kHz LtRt 96 kHz	お使いのレコーディング装置の動作周波数に合うオプションを選びます。(これらのオプションで、マルチチャンネル信号はミックスダウンして2チャンネルとなります)。
LtRt As Input	出力周波数は入力周波数と同じ、マルチチャンネル信号はミックスダウンして2チャンネルとなります。
Bit Perfect	出力周波数は入力周波数と同じです。一切の信号処理がされないで出力されます。
アナログ	音声/映像信号をアナログ出力します。
SCART	音声/映像信号をSCART 出力します。
As KNEKT	KINOS のレコードバスを使用すると、KNEKT Line Driverシステムをお使いの方はこの設定により再生中のソースを変更できます(レコードバスも変更されます)。レコードバスを保護するには、必要なレコーディングオプションを選択します。レコーディングが完了したら、As KNEKTオプションを再度選択します。
...	レコードバスがありません。

注記:
適用できるレコーディングオプションは入力信号がアナログ、あるいはデジタルによって異なります。

入力信号は全てのアナログ、デジタル出力端子に同時に出力されます。録音端子を選択設定する必要はありません。

著作権保護のため、オーディオ、ビデオのディスクによっては、録音を妨げるプロテクションシステムが組み込まれていることがあります。

設定の変更

セットアップメニューを介してKINOSの多くの機能を調整することができます。リモコンの「**SETUP**」を押すか前面パネルの「**SELECT**」を約5秒間押し続けると、機能を調整できるようになります。MAIN MENU画面が前面パネルのディスプレイ/ディスプレイ装置に表示されます。

セットアップ作業中、ほぼどの項目に対しても、「**HELP**」を押してオンスクリーンのヘルプ情報(ディスプレイ装置に表示されます)を見ることができます。

設定メニューを選び設定を変更する:

- メニュー項目のあいだを移動するには、リモコンか前面パネルの **▲** / **▼** キーを押します。
- メニュー項目を選ぶには、リモコンの「**enter**」か前面パネルの「**SELECT**」を押します。
- メニュー項目の設定を変更するには、リモコンか前面パネルの **▲** / **▼** キーを押します。
- 新たな設定を選択するには、リモコンの「**enter**」か前面パネルの「**SELECT**」を押します。

セットアップについて、詳しくは「**KINOSの設定**」をご覧ください。

注記:

KINOSのセットアップを容易にするために、前面パネルに**PS2 (PC)** キーボードをつなぐことも可能です。

設置

KINOSシステムコントローラー設計にあたり常に使う方のニーズを念頭に置き、設置、セットアップ、操作を可能な限りシンプルにすることに努めました。

本章には、お客様のご要望にしたがってKINOSを設置・構成する方法が解説されています。単純明快な手順だと感じていただければ幸いです。

梱包

KINOSシステムコントローラーには、以下の付属品が同梱されています。

- 蓄光リモコンとブックレット
- リモコン用単4乾電池(2本)
- RS232コード(KINOSをリンUNIDISK プレイヤーに接続し、2つの機器の間で通信できるようにするため)
- 電源コード
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

電源の接続

一般の商用電源からのAC電力で作動しますから、電圧を選択する必要はありません。本機にはユーザーが交換できるヒューズは内蔵されていません。各国の規則にしたがって、電源コードにヒューズ入りプラグが付属している場合があります。その場合は、ヒューズ交換の際に必ず同タイプ同定格のものを使用してください。



警告：電源につなぐ際、KINOSシステムコントローラーは必ずアースしてください。付属のアース付き成形電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

設置

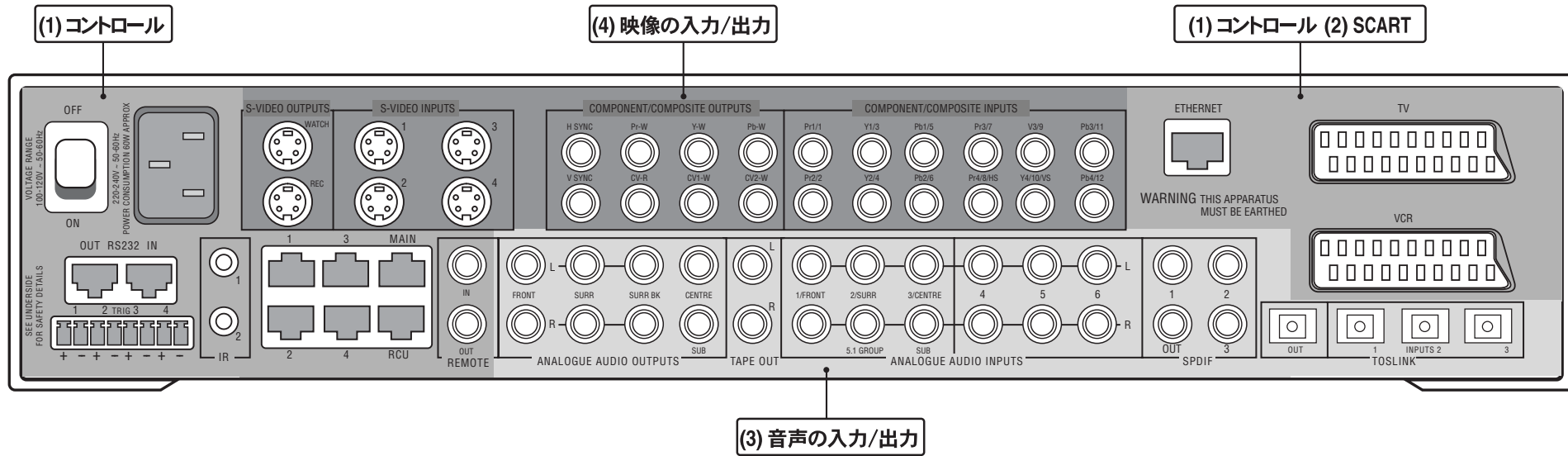
KINOS はどんな場所(19インチラックを含む)にも手軽に置いていただけます。ただし、以下の点にご注意ください：

- リモコンからの信号を受ける赤外線センサーは高感度です。誤作動を避けるために、本機は直射日光が当たらないところに置いてください。リモコンの赤外線ビームは磨りガラスも通りますから、たとえばキャビネットの曇りガラス越しの操作も可能です。
- 本機の上部と側面の換気孔を塞がないでください。
- ラジエーターやパワーアンプなど、熱を発するものから離して設置してください。特にKINOSをラックに載せる場合、パワーアンプより下に置いて、アンプから上がる熱気に当てないようにします。通気のため上下に1U分のスペースをとってください。最適な冷却のためには、ファン付きの換気装置(またはエアコン)をラック中に取り付けることもできます。

注記：

KINOSを長時間使用したり、換気が不十分だったりすると、内蔵ファンが作動し、内部温度が所定のレベルに下がるまで回転し続けます。

接続



KINOSの背面パネルの端子は上図の通りです。端子は機能によりグループ分けされ、名称がついています。端子のグループと接続は、図のようなセクションに分けて、マニュアルの以下数ページにわたって列挙されています。



背面パネル端子プラグの取り付けや取り外しは、KINOSシステムコントローラーのスイッチを切ってから行ってください。これは電圧サージが発生して本機や他のAV装置に損傷を与えるのを防止するためです。

リンUNIDISKプレイヤーとKINOSを接続して使用する

リンUNIDISKプレイヤーとの接続および設定方法に関しては本章の最後の部分を参照してください。

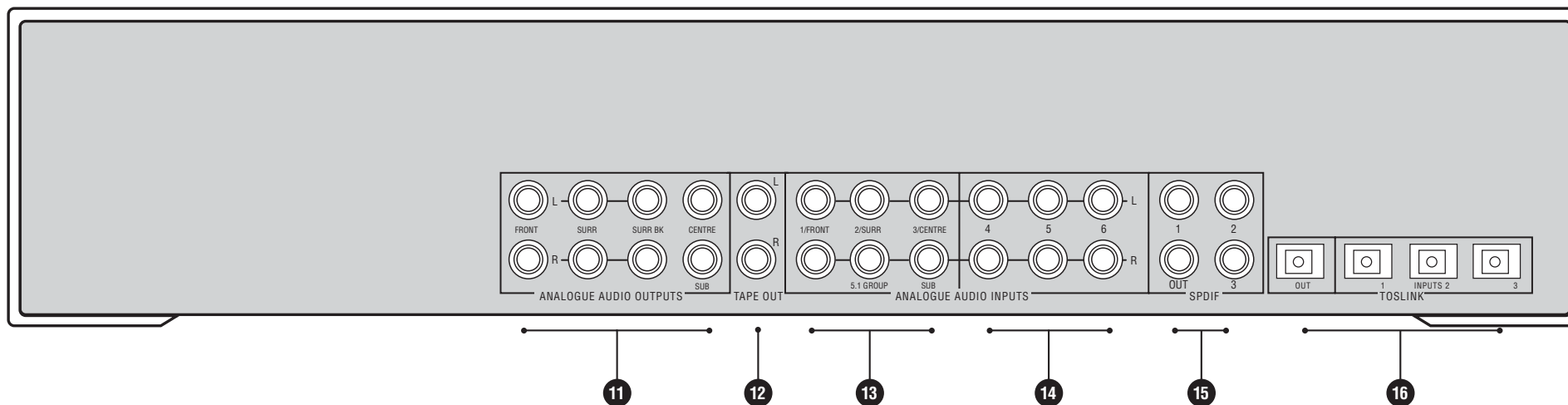
(1) コントロール、(2) SCART



端子グループ名: 端子表示	接続機能	端子タイプ
① OFF, ON	電源スイッチ	-
② 名称・表示なし	電源	IEC
③ RS232: IN, OUT	操作コマンドをKINOSへ入力またはKINOSから出力。リンUNIDISKプレイヤーなどの他の装置をKINOSで操作する場合、OUT接続を使用。別のホームシアターコントローラーからKINOSを操作する場合、IN接続を使用。	2 x RJ12
④ TRIGGER: 1 - 4	+12 V 切替コントロール出力。プロジェクトアスクリーン、照明コントロールなどの周辺機器操作。	4 x Phoenix
⑤ IR: 1, 2	赤外線コマンドを補助装置に出力	2 x 3.5 mm ジャック
⑥ 1 - 4. MAIN, RCU	KINOSがKNEKTシステムの一部となる場合に使用	6 x RJ45

端子グループ名: 端子表示	接続機能	端子タイプ
⑦ REMOTE: IN, OUT	KNEKTシステム内におけるRC5 in/out ローカルループ	2 x RCA
⑧ ETHERNET	KINOSをコンピュータ／家庭内ネットワークから制御	RJ45
⑨ TV	TVへの出力。セットトップボックスなどSCARTが使用できる装置からも入力することができます。コンポジット、S映像、コンポーネント信号を出力しますが、入力はコンポジットのみです。	SCART
⑩ VCR	テープデッキからの入力、あるいはテープデッキへの出力に使用可。コンポジット、S映像、コンポーネント信号を入力または出力します。	SCART

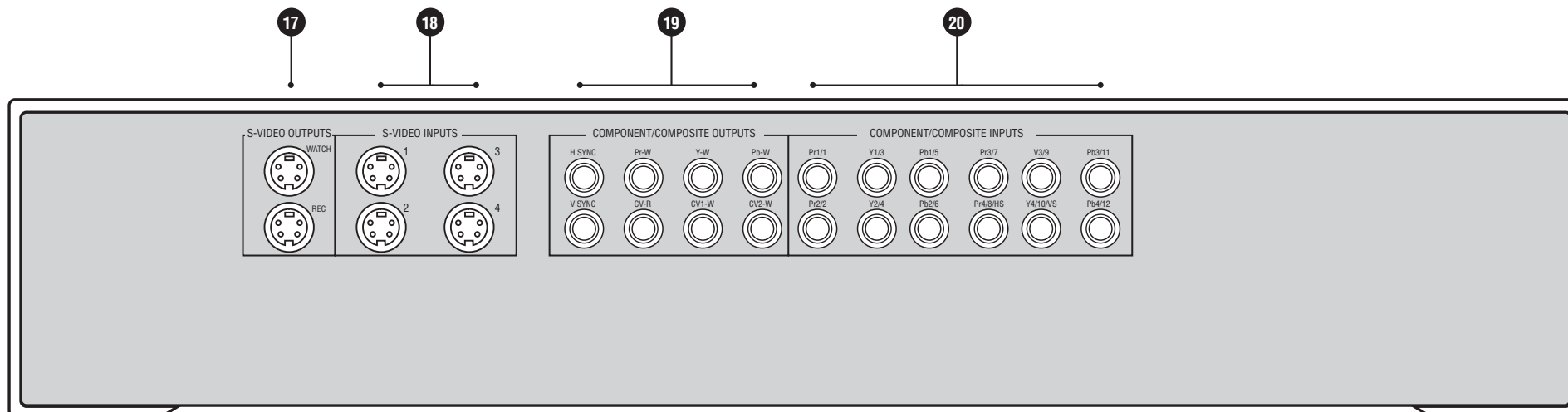
(3) 音声の入力／出力



端子グループ名: 端子表示	接続機能	端子タイプ
11 ANALOGUE AUDIO OUTPUTS: FRONT L-R, SURR L-R, SURR BK L-R, CENTRE, SUB	7.1アナログ音声出力1個。SURR (サラウンド) 出力は、5.1システム内の2個のサラウンドラウドスピーカーへの接続用。SURR BK (サラウンドバック) 出力は、7.1システム内の部屋の後方に置く2個の追加ラウドスピーカーへの接続用。	8 x RCA
12 TAPE OUT: L-R	DATプレイヤーなどのレコーディング装置への接続用アナログL-R出力1個	2 x RCA
13 ANALOGUE AUDIO INPUTS: 5.1 GROUP - 1/FRONT L-R, 2/SURR L-R, 3/CENTRE L, SUB R	5.1アナログ音声入力1個またはステレオアナログL-R音声入力3個	6 x RCA
14 ANALOGUE AUDIO INPUTS: 4 L-R, 5 L-R, 6 L-R	ステレオアナログL-R 音声入力3個	6 x RCA

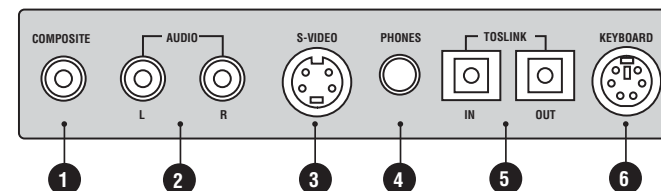
端子グループ名: 端子表示	接続機能	端子タイプ
15 SPDIF: OUT, INPUTS 1 - 3	電気デジタル音声出力1個、電気デジタル音声入力3個	4 x RCA
16 TOSLINK: OUT, INPUTS 1 - 3	オプティカルデジタル音声出力1個、オプティカルデジタル音声入力3個	4 x TOSLINK

(4) 映像の入力／出力



端子グループ名: 端子表示	接続機能	端子タイプ
17 S-VIDEO OUTPUTS: WATCH, REC	ディスプレイ装置への接続用S映像ウォッチ出力1個。レコーディング装置への接続用S映像録画出力1個。	2 x 4 W mini-DIN
18 S-VIDEO INPUTS: 1 - 4	ソースコンポーネントへの接続用S映像入力4個。	4 x 4 W mini-DIN
19 COMPONENT/ COMPOSITE OUTPUTS: H SYNC, V SYNC, Pr-W, Y-W, Pb-W, CV-R, CV1-W, CV2-W	YPrPb (RGB)コンポーネント出力1個+H&V Sync出力。ウォッチ(CV1-W, CV2-W)出力2個、録画(CV-R)コンポジット出力1個。	8 x RCA
20 COMPONENT/ COMPOSITE INPUTS: Pr1/1, Y1/3, Pb1/5, Pr2/2, Y2/4, Pb2/6, Pr3/7, Y3/9, Pb3/11, Pr4/8/HS, Y4/10/VS, Pb4/12	YPrPb (RGB)コンポーネント入力4個またはYPrPb (RGB)コンポーネント入力2個とYPrPb+H&V Sync (HS, VSで示しています)入力*1個、またはコンポジット入力12個。 *H&V Sync入力を使用したい場合、Pr2Y2Pb2入力も使用しなければなりません。	12 x RCA

前面パネル端子



端子グループ名: 端子表示	接続機能	端子タイプ
1 COMPOSITE	コンポジット映像入力	1 x RCA
2 AUDIO: L / R	アナログステレオ入力	2 x RCA
3 S-VIDEO	S映像入力	4 pin mini-DIN x 1
4 PHONES	ヘッドフォン用ソケット	1 x 6.5 mm ジャック
5 TOSLINK: IN/OUT	デジタルオプティカル音声入力&出力	2 x TOSLINK
6 KEYBOARD	キーボードを用いた セットアップ用	1 x 6 pin mini-DIN

KINOSの設定

KINOSは簡単かつ分かりやすく設定ができるように設計されています。下記の手順に順次従い、KINOSを正しく接続し、ご希望に沿った状態になるように設定します。

1: 接続

まず初めにソースおよびその他の周辺機器をKINOSに接続します。

1. KINOSとKINOSに接続するすべてのコンポーネントの電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
2. マニュアルの背面パネル図を参照しながら、ソースコンポーネント（お使いの機器からの入力）をKINOSに接続します。セットアップを容易にするため、KINOSにはデフォルトの入力設定がなされています（「デフォルト入力設定」を参照してください）。

例：
CDプレイヤーからアナログ出力を接続したい場合、KINOSの「Analog1」入力を使用してください。

注記：
各コンポーネントを接続する際、接続内容を、本マニュアル内の入力機器概要のテンプレートに記入しておくことをお勧めします。

3. マニュアルの背面パネル図を参照しながら、ディスプレイ装置、パワーアンプ（お使いの機器からの出力）を接続します。

重要事項：

映像信号は必ずそのまま（フォーマット変更なしに）本機を通過するため、入力映像信号と出力映像信号を合わせてください。

例：
入力映像信号がYPrPbの場合、出力映像信号もYprPbでなければなりません。

ただし、入力と出力の端子が同じである必要はありません。

例：
入力映像信号用端子がS映像SCARTの場合、映像信号を出力できる端子はS映像SCART、S映像ウォッチ、S映像録画のいずれかとなります。

4. 使用する通信／制御装置を（Ethernet, RS232, 12 V triggers等）接続します。
5. すべての周辺コンポーネントの電源ケーブルをコンセントに差し込んで電源を投入してください。

6. KINOSを電源に接続し、背面パネルのスイッチを使って本機に電源を入れます。前面パネルのディスプレイで約40秒間「LOADING OPERATING SYSTEM」が点滅します。お使いの機器に応じて、画面にKINOSまたはKINOS+DSPが表示されます。これでKINOSはスタンバイモードとなります。

7. 前面パネルリモコンの  <standby> を押します。

2: セットアップモード

次にセットアップ画面を出します。前面パネルには全てのセットアップメニューが表示されますが、ディスプレイ装置でセットアップ画面を見ながら本機をセットアップするほうが便利かもしれません。（KINOSのオンスクリーンヘルプはお使いのディスプレイ装置に表示されますが、前面パネルには表示されません。）

映像出力：重要事項

KINOSの映像出力信号のデフォルト設定にはYPrPbが使われています。ご使用のディスプレイ装置がYPrPbを受け付けない場合は、「Watch」を変更する必要があります：KINOSのDefault Modeセッティングを該当する設定に変えてください

設定の変更には、まず以下のページの「設定メニューを選び設定を変更」の部分を一読してから、下記の手順に従います：

1. リモコンの「SETUP」か前面パネルの「SELECT」を押し続けると、Main Menu画面がInstaller Menu画面に変わります。
2. 必要なら言語の設定を変更します。
3. Edit User Profile（ユーザープロフィール編集）メニューに入ります。
4. Video Options（ビデオオプション）メニューに入ります。
5. 「Watch」を変更します：Default Modeの項目を適切な設定に変えてください。
6. Setupを終了します。

KINOSには2つのセットアップモードがあります。

1. General Setup(一般設定)

新しいソースの追加、既存入力力の削除、既存入力力やスピーカーの設定変更、KINOSの一般設定を行います。「installer only」の設定アイテムは、General Setup中ではアクセスできません(下記参照)。

General Setupにおいて行われた設定変更は、インストーラーによる設定に戻すことができます。

設定中に、セットアップ項目のいずれかについて情報を参照するには、前面パネルかリモコンの「HELP」を押してください。

General Setup(一般設定)画面に入る:

- リモコンの「SETUP」を押すか前面パネルの「SELECT」を約5秒間押し続けると切り替わります。Main Menu(メインメニュー)画面が出ます。

2. Installer Setup(インストーラー設定)

インストーラー設定では、最高4種類の異なる構成内容でKINOSを設定することができます(本機を異なる場所で利用するときに便利です)。これらの構成内容のことを「プロフィール」と呼びます。各プロフィールでの、スピーカー、入力機器、AVパフォーマンス、KINOSの一般設定を行うことができます。既存のプロファイルとよく似たプロフィールを構成したいときには、既存のものをコピーすると簡単です。プロフィールには、本マニュアルの「デフォルト入力設定」のページに記載されているようにデフォルト入力設定がなされています。

ここには、General Setupにはない、多くの「installer only(インストーラーのみ)」のメニュー項目があります。これらは上級のセッティングなので、いったん設定したら変更はほとんど必要ないはずですが、「Installer only」項目は「+」で示されます。

このモードでなされた変更は簡単にはもとに戻せないため、インストーラーの方でない限り、インストーラー設定のご使用はお奨めできません。

Installer Setup(インストーラー設定)画面に入る:

- リモコンの「SETUP」か前面パネルの「SELECT」を押し続けます。約5秒後にMain Menu画面が表示されます。Installer Menu画面が表示されるまで同ボタンを押し続けます。

3: インストーラー設定

設定作業では主に、設定メニューを使用して、KINOSの設定を使用目的に合わせてセットアップしてゆきます。「HELP」を押せばオンスクリーンヘルプを参照することができます。

設定メニューを選び設定を変更する:

- リモコンか前面パネルの ▲ / ▼ キーでメニュー項目のあいだを移動します。
- メニュー項目を選ぶには、リモコンの「enter」か前面パネルの「SELECT」を押します。
- リモコンか前面パネルの ▲ / ▼ キーでメニュー項目設定を変更します。
- 新たな設定を選択するには、リモコンの「enter」か前面パネルの「SELECT」を押します。

Installer Setup(インストーラー設定)の 手順

1. Installer Setup(インストーラー設定)画面に入ります(上記を参照)。
2. セットアップメニューを表示する言語を選択します。英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語の中から選ぶことができます。
3. 長さの単位(フィートまたはメートル)を選びます。
4. 構成しようとするプロフィールを選び、「enter」または「SELECT」を押します。Main Menu(メインメニュー)画面が出ます。
5. 必要に応じてProfile Name(プロフィール名)を変更します。
6. Speaker Setup(スピーカー設定)画面に入ります。適切なスピーカー設定を行います。
7. Source Setup(入力設定)画面に入ります。追加した各入力を登録します。不要な登録されている入力機器を削除します。*
8. Source Overview(ソースオーバービュー)項目は入力設定完了後に参照します。各ソース構成の名称、タイプ、音声および映像の設定が表示されます。
9. Audio Options(音声オプション)、Video Options(映像オプション)、General Setup(一般設定)の画面に入ります。設定を調整します。

これでプロフィールの構成が完了します。

* 少数のソースをセットアップするだけであれば、入力機器を追加する前に、既存のソースデフォルトをすべて削除すると簡単です。Source Setup(ソース設定)メニュー画面内、「Remove All Sources」(全入力削除)機能があります。

4: ユーザープロフィール

設定の最後にセットアップしたプロフィール内の設定をユーザープロフィールに移します。KINOSの通常作動においてこの設定が使われます。

方法:

1. **Installer Menu** (インストーラーメニュー) 画面で、「**Copy Profile**」(プロフィールをコピー)にカーソルを合わせて「**enter**」か「**SELECT**」を押します。
2. 「**Copy Profile**」項目でいまセットアップしたプロフィールを選び、「**enter**」または「**SELECT**」を押します。
3. 「**To Profile**」項目で、**User**を選び、「**enter**」または「**SELECT**」を押します。
4. 「**Overwrite Target Profile**」(ターゲットプロフィールを上書き)にカーソルを合わせて「**enter**」または「**SELECT**」を押します。
5. **Setup**を終了します。

注記:

いったんKINOSをセットアップした後にインストーラー設定を調整したい場合、ユーザープロフィールで変更を行ってください。

既存プロフィールのコピー

既存のプロフィールと同様の新プロフィールを構成しようとする場合、既存プロフィールをコピーする方が便利な場合があります。

方法:

1. **Installer Menu** (インストーラーメニュー) 画面で、「**Copy Profile**」(プロフィールをコピー)にカーソルを合わせてリモコンの「**enter**」か前面パネルの「**SELECT**」を押します。
2. コピーしたいプロフィールの番号を選び、「**enter**」か「**SELECT**」を押します。
3. 「**To Profile**」項目でコピー先のプロフィールを選び、「**enter**」または「**SELECT**」を押します。
4. 「**Overwrite Target**」(ターゲットプロフィールを上書き)にカーソルを合わせて「**enter**」または「**SELECT**」を押します。

Linn UNIDISKプレイヤーとKINOSを接続して使用する

Linn UNIDISK とKINOS を接続して使用すると、以下のような操作上の利点が生じます。

- UNIDISK にディスクがセットされ、KINOS でUNIDISK を選択すると、自動的にディスクに相応しい入力端子に切り替わります。
- KINOS はディスクに収録されたサラウンドフォーマットに対応するアルゴリズムを選択します。
- KINOS、UNIDISK のどちらのリモコンからも操作に混乱なくコマンドできます。
- KINOS のメインメニュー中にあるユニディスクセットアップの項目からUNIDISK のセットアップメニューにアクセスできます。(UNIDISK のセットアップメニューが接続されている映像機器に表示されます)

リンUNIDISKプレイヤーをKINOSと接続して使用する場合、以下の設定を行ってください。

1. UNIDISKプレイヤーから使用する音声および映像出力を、対応するKINOSの入力端子へ接続します。
2. KINOS' RS232 OUTのRS232製品接続コード(KINOS付属)をUNIDISKプレイヤーのRS232 INに接続します。
3. KINOSのREMOTE OUTをUNIDISKプレイヤーのREMOTE IN(RCAフォノフォノリードが必要になります)に接続します。
4. UNIDISKプレイヤーでユーザーオプションを入力します。

設定 -

前面パネルIR Command /Enable IR Commandsを「IGNORED」または「OFF」、RS232 Events/Enable RS232 Eventsを「ENABLED」または「ON」に設定します。Baud Rateを9600 に設定します。
(また、UNIDISK SCのKnekt Modelは「SOURCE」に設定します。)

5. ユーザーオプションを終了します。
6. KINOSのInstaller Setup(インストーラー設定)画面に入り使用するプロファイルを選択します。
7. 「General Setup」(一般設定)を選択します。

8. 「RS232 Out Setting」を選択します。

設定 -

機能をUNIDISK、
Baud Rateを9600、
ParityをEven、
Data Bitsを7、
Stop Bitsを1に

設定保存してメインメニューに戻ります。

9. 「Source Setup」を選択します。

10. 「Add UNIDISK」を選びます。ここでは使用する音声および映像入力を設定し、他の選択可能なオプションを調整することができます(設定メニューの詳細についてはリモコンの「HELP」を押してください)。設定が完了したら「Save」を選択して設定を終了します。

AVシステムにおいてKINOS と他の機器等と一緒にご使用になるUNIDISK プレーヤーは、セットアップメニューが正しく設定されているかどうかをご確認下さい。メニュー項目の大半はデフォルト状態でお使い易いように設定されています(詳細はUNIDISK プレーヤーのオーナーズマニュアルをご参照下さい)。

デフォルト入力設定

KINOSシステムコントローラーのためのデフォルトのソース入力設定は以下の通りです。

名称	タイプ	音声入力	映像入力
Tape	Tape1	analog6	-
FM Tuner	Tuner	analog5	-
Phono	AUX	analog4	-
CD Player	CD	analog1	-
SACD/DVD-A	DVD	analog5.1	RGBgroup1
DVD Player	DVD	spdif1	RGBgroup1
DAB Tuner	Tuner	tos1	-
Satellite	AUX	tos2	composite4
Game	AUX	tos3	Svid1
TV	TV	ScartTv	compositeScartTv
VCR(SCART)	Tape2/VCR	ScartVcr	compositeScartVcr
FrontA/V	-	analogAux	compositeAux
FrontDA/SV	-	tosAux	svidAux
FrontA/VS	-	analogAux	svidAux

技術データ

電氣的

電源 100-230 VAC @ 50-60 Hz

重量および寸法

重量 4.7 kg

外形寸法 381 (W) x 368 (D) x 80 (H) mm

信号インターフェイス - 入力

音声

タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
SPDIF	3 x RCA	500 mVp-p	75 Ω	-
オプティカル	3 x TOSLINK	-	-	-
オプティカル	1 x TOSLINK (前面パネル)	-	-	-
アンバランス	12 x RCA	2 Vrms	10k Ω	アナログ
アンバランス	2 x RCA (前面パネル)	2 Vrms	10k Ω	アナログ

映像

タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
RGB + コンポジット + S映像	2 x SCART	1 Vp-p	75 Ω	標準 TV + VCR インターフェイス (出力として使用 可)
コンポジット / コンポーネント	12 x RCA / 3 x RCA / 1 x RCA + H & V syncs	1 Vp-p	75 Ω	-
S映像	4 x 4 pin mini-DIN	1 Vp-p	75 Ω	-
コンポジット	1 x RCA (前面パネル)	1 Vp-p	75 Ω	-
S映像	4 pin mini-DIN x 1 (前面パネル)	1 Vp-p	75 Ω	-

信号インターフェイス - 出力

音声

タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
SPDIF	1 x RCA	500 mVp-p	75 Ω	-
オプティカル	1 x TOSLINK	-	-	-
オプティカル	1 x TOSLINK (前面パネル)	-	-	-
アンバランス	8 x RCA	2 Vrms	330 Ω	サラウンド出力
アンバランス	2 x RCA	2 Vrms	330 Ω	レコード出力
Stereo	6.5 mm ジャック	-	10 Ω	ヘッドフォン出力

映像

タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
コンポジット	2 x RCA	1 Vp-p	75 Ω	「ウォッチ」出力
コンポジット	1 x RCA	1 Vp-p	75 Ω	「レコード」出力
コンポーネント	1 x RCA + H & V syncs	1 Vp-p	75 Ω	「ウォッチ」出力
S映像	2 x 4 pin mini-DIN	1 Vp-p	75 Ω	「ウォッチ」出力
S映像	2 x 4 pin mini-DIN	1 Vp-p	75 Ω	「レコード」出力

コントロールインターフェース

タイプ	ポート名	ピンコネクタ
RS232	In	Rx = 3, Tx = 2, Ov = 5
RS232	Out	Rx = 5, Tx = 4, Ov = 2

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。

あるいは、www.linn.co.ukにて保証登録していただけます

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

www.linn.co.uk

www.linn.jp

重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Glasgow Road
Waterfoot
Glasgow G76 0EQ
Scotland, UK

Phone: +44 (0)141 307 7777
Fax: +44 (0)141 644 4262
Helpline: 0500 888909
Email: helpline@linn.co.uk
Website: www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA

Phone: +1 (904) 645 5242
Fax: +1 (904) 645 7275
Helpline: 888-671-LINN
Email: helpline@linninc.com
Website: www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Albert-Einstein-Ring 19
22761 Hamburg
Deutschland

Phone: +49-(0) 40-890 660-0
Fax: +49-(0) 40-890 660-29
Email: info@linngmbh.de
Website: www.linn.co.uk

リン・ジャパン

101-0021
東京都千代田区外神田6-1-4
神田ノーザンビル4F

TEL: +813.5816.6881
FAX: +813.5816.6882
ヘルプライン: 0120 126 173
Website: www.linn.jp

